



# 農研機構 ひらけろく サイエンスカフェ



NARO SCIENCE CAFE NARO SCIENCE CAFE NARO SCIENCE CAFE

第14回 2019年11月16日(土)10:00~11:30

▶▶▶ 食と農の科学館 (茨城県つくば市観音台3-1-1)



※駐車場には限りがあります。  
※満席の場合には、立ち見になる  
可能性があります。

## おいしい！ヘルシー！話題のもち麦新品种「はねうまもち」

講師 長嶺 敬

(農研機構 中央農業研究センター 作物開発研究領域)

大麦が多く含む“機能性成分β-グルカン”は食後血糖値の上昇抑制や、コレステロールの抑制、メタボ抑制などに効果があることがTVや雑誌で紹介され“もち麦(もち性大麦)”の需要が急激に伸びています。ところが、国内で流通するもち麦の大半は北米からの輸入大麦であり、消費者や加工メーカーからは国内産もち麦への代替が期待されてきました。中央農研北陸拠点で育成したもち麦新品种「はねうまもち」は福井県で奨励品種に採用され、北海道網走地区から広島県中山間地まで作付けが広がっています。今春の収穫は全国でおよそ2500トンが見込まれ、国内のもち麦品種では最多の生産量となり、多くの消費者のもとに届くことになります。



大麦の現場(生産・利用)に役立つ仕事を迅速に進めることをモットーにしています。主な育成品種は、はねうまもち(もち性大麦)、サチホゴールデン(ビール醸造用品種)、キラリモチ(はだか麦)、ふくさやか(小麦)です。最近の活動は、「はねうまもち」や焼酎・大麦粉用品種「ゆきみ六条」を利用した地域での農業・福祉・食品産業連携です。



図1 各地の生産者による「はねうまもち」の6次産業化商品



図2 新潟市内の健康レストラン活動で提供されている「はねうまもち」ランチプレート



図3 新潟市での「はねうまもち」活用に関するパンフレット

参加無料  
途中退席可

FREE

申込み不要!!

お茶をご用意  
しております

主催：農研機構  
共催：つくば市

### サイエンスカフェとは？

研究者と市民の皆さんが、身近な場所で、お茶でも飲みながら、科学の楽しさについて気軽に語り合う場を作る試みです。農研機構の研究者が、農業研究の最先端から身近な話題までわかりやすくお話しします。気軽にご参加いただき、日頃の疑問を専門家に聞いてみて下さい。

お問い合わせ先

農研機構中央農業研究センター広報チーム  
☎029-838-8481 ✉ koho-narc@naro.affrc.go.jp

つくば市政策イノベーション部科学技術振興課  
☎029-883-1111 ✉ pln112@city.tsukuba.lg.jp